

高齢者福祉部会
感染症対策で伴社協主催のグランドゴルフ大会(三月)を断念したのはじめ、行事は散発的な開催が中止となりました。

ただ、お年寄りにとって地域のつながりでもあるサロンや介護予防(百歳)体操などは、とても大切な取り組みとなっていることを再認識しました。次年度はぜひ「三密」を避けて工夫を凝らし

高齢者福祉部会

(部長 中村晴男)

老人いこいの家は、断続的な休館など感染症対策に翻弄されました。五月下旬からマスク、消毒、検温など「三密」を避けた活動再開も、サロンは一度も開けず、介護予防運動教室も再開と自粛を重ねました。

ウイズコロナの時代に地域の高齢者が、自宅でもできる活動の普及にも取り組み、皆さんの健康づくりを少しでも応援していけたらと考えています。

総務部会

令和二年度の活動報告

いろいろな活動を行いたいと思います。

(部長 伊藤修太)

障がい者福祉部会

障がい者ふれあいの会、とも福祉フェスタ等を本年度も計画しましたが、感染症対策から活動を見送りました。地域の中で不自由を抱えている方々と触れ合える貴重な機会を持てず大変残念に思います。

次年度も、とも福祉フェスタは、初年度同様、安佐南区音楽交流会さんから同時開催のお誘いを受けました。感染予防に努めながら、できる活動を探っていきたいと考えています。

(部長 新村雅雄)

福祉委員部会

会議や行事が次々に延期や中止、とてもさびしい一年間でした。しかし、各町内では、少人数でもサロン等を福祉委員さんがお手伝いされ、一人暮らしやお年寄りの見守り活動をされたと聞いて大変感謝しています。新しい委員



草刈りの訪問支援(7月)

会員は、できる時、できるだけ、できる範囲を合言葉に活動しています。一緒に参加してみようと思われる方は、ぜひ連絡をお願いします。

※連絡先・沼田老人いこいの家
電話八四八―三二七七

ボランティアバンク「とも」から

一人暮らしなどのお年寄りが日常生活で困っている作業をお手伝いする令和二年度の訪問作業支援件数は計九件。内訳は①庭の草刈り七件②シートの張り替え一件③蛍光灯の交換一件でした。

(部長 有馬義憲)



がんばり過ぎないでね

ロコモ体操再開

長く休止していた「ボランティアすみれ」運営の介護予防運動(ロコモ体操)教室が二月末、老人いこいの家で再開しました。参加者が、講師の倉中綾子さん指導による心地よい全身運動で健康状態を確かめ合いました。

毎月第二、第四金曜日の午前十時半から。密集を避けるため先着二十人を予約で受け付けています。

みんなの顔が見える伴に 体操会「げんき・かい」五年

みんなの体操「げんき・かい」を全国ラジオ体操連盟に登録し、五年目に入りました。コロナ禍の中でも、毎朝の参加人数は、少しずつ増えています。夏休みは大人の体操会に子どもたちを受け入れ、地域のあいさつ運動として提唱した当初の大きな目的を達成しつつあります。



ラジオ体操の参加者(3月・広陵町内会の新広場)

本年度は伴東、大塚伴南学区社協にも呼び掛け、三学区全十一会場が「げんき・かい」を名乗り、一挙に友達が増えた気がします。

お年寄り同士のコミュニケーション、子どもたちとふだんの声掛けによって顔の見える地域の輪を広げたいと思います。

(児童福祉部会 西田雅行部長)

火山プロジェクト

第二弾は植樹大作戦

伴・大塚コミュニティ推進協議会が、火山の自然や観光の新たな魅力を発信します。五年間に桜とモミジ計二千本を植樹。神武天皇の伝説を核にした火山プロジェクトに取り組みます。



権現コースに桜の植樹(2月7日)

広島南アルプスの主峰、火山は、神武天皇が東征の途中、山頂に登って狼煙を上げたと伝えられます。植樹計画は山頂、三田峠、権現峠を結ぶ三つの登山道に桜とモミジ各千本。第一回の植樹会は約六十人が権現神社に集合、桜の苗木を権現コースに植えました。

協議会は、三城田神楽団とともに伝説を基に創作神楽「火山」も制作。地元団体と連携しネットで西風新都の発信力も高めます。



早朝、通学路で見かける制服姿は交通安全運動推進隊のみなさん。市民交通安全の日(毎月一日、十日、二十日)に児童の安全を守ります。沼田地区隊は総勢二十一人。春夏秋と年末の交通安全運動、入学・卒業式、地域の行事を含めれば、年間の活動日が百日を超える方もいます。

